

都市再生整備計画 事後評価シート

稲生沢・蓮台寺温泉お散歩地区

令和3年3月
静岡県 下田市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県	市町村名	下田市	地区名	稲生沢・蓮台寺温泉お散歩地区			面積	40ha					
交付期間	平成28年度～令和2年度	事後評価実施時期	令和2年度	交付対象事業費	84百万円	国費率	0.4							
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】市道立野お吉ヶ淵線 【道路】市道日陰2号線 【道路】市道安城1号線 【公園】(仮)天神公園 【地域生活基盤施設】案内板等整備事業 【地域生活基盤施設】湯の華広場 【高質空間形成施設】県道蓮台寺立野線 【高質空間形成施設】湯の華小径 【高質空間形成施設】湯めぐり広場 【高質空間形成施設】ストリートミュージアム											
		提案事業	【地域創造支援事業】四季の花植栽事業 【地域創造支援事業】温泉旅館活用事業 【事業活用調査】地域資源活用調査(温泉旅館等との連携等) 【事業活用調査】事業効果分析調査 【まちづくり活動推進事業】ワークショップの開催、まちづくりPR											
	当初計画から削除した事業	事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
		基幹事業	①【道路】市道安城1号線 ②【地域生活基盤施設】湯の華広場 ③【高質空間形成施設】県道蓮台寺立野線 ④【高質空間形成施設】ストリートミュージアム			①工法の検討に時間を要するため、事業を削除。 ②旅館蓮台寺荘の隣地であったが、旅館が閉館となったことによる事業の削除。 ③整備内容について理解が得られず、計画期間内の整備が難しいことから事業を削除。 ④1箇所ではなく、地区内に分散して地区の歴史等を見せることとしたため、事業の削除。		影響なし						
		提案事業	なし			—		—						
		新たに追加した事業	基幹事業	①【公園】(仮)道草公園 ②【公園】(仮)枝垂れ桃の里公園			①地元ワークショップで回遊するルートを検討した結果、回遊において重要な場所となったことによる事業の追加。 ②枝垂れ桃の大規模植栽箇所の一角を市で所有でき、公園として整備することになったため、事業を追加。		影響なし					
		提案事業	【地域創造支援事業】社寺歴史等活用事業			地区内に分散して地区の歴史等について見せる方が、散策を促す方法として効果があるとして事業を追加。		影響なし						
	交付期間の変更	当初	平成28年度～令和2年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—							
		変更	変更なし											
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
指標1		散策数 吉田松陰寓寄処の年間来訪者の増加	(人/年度)	2,839	H25	3,000	R02	モニタリング	評価値	△	あり	—	メディアによる波及効果により、吉田松陰寓寄処の来訪者は、平成27年度にピークとなった。事業を開始した平成28年度から平成30年度は目標値3,000人を超えていたものの、その後、コロナ禍において、令和2年3月から吉田松陰寓寄処もコロナ対策で閉館したため利用者は減少、来訪者数の達成はできなかった。	R05 (コロナ収束後)
											なし	●		
指標2		散策数 主要旅館2軒における宿泊数の現状維持	(人/年度)	18,670	H26	18,670	R02			△	あり	—	当該主要旅館宿泊者数は、平成27年度約19,200人あまりで、目標値の18,670人を超えていた。しかし平成28年度以降は、市内の観光レクリエーション客数の減少もあり宿泊客数は減少し、令和2年度も市内イベントが相次いで中止となり、引き続き厳しい状況である。	R05 (コロナ収束後)
											なし	●		
指標3		まちづくり活動に参加したい人の増加「関心あり、機会があれば活動に参加したい」割合	%	32.7 (稲生沢地区住民割合)	H25	38.9 (全市民における割合)	R02			△	あり	—	稲生沢地区のまちづくりの会議は継続的に行われている。その活動である2つのプロジェクト「四季の花咲く稲生沢」では、駅や小中学校などに植樹を行い、「地域資源の掘り起こしとマップづくり」では、地区全戸へマップの配布を行うなど、具体的な活動により、地域住民の関心が高まっている。	R05 (コロナ収束後)
											なし	●		

	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 （総合所見）	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1	生活環境の満足度	%	20.4	H25			20.9				住民の生活に密接につながる道路や公園といった公共施設の整備改善等を行ったことにより、生活環境が向上した。	—	
	その他の 数値指標2	稲生沢地域のまちづくり協議会への参加	%	0.0	H30			23.6				本計画で行ったワークショップをきっかけに、平成30年度、まちづくり協議会が発足した。地区内の温泉旅館で日帰り入浴ができる「湯めぐり花めぐり」や地域資源を記したマップの作成及び全世帯配布などを行うことで、稲生沢地域のまちづくり活動が定着した。	—	
	その他の 数値指標3	温泉旅館活用事業「湯めぐり花めぐり」イベント参加者の地区内周遊	%	0.0	H30			70.0				地区内の温泉旅館で日帰り入浴ができる「湯めぐり花めぐり」参加者に対して、旅館だけではなく地区の周遊も促すために、稲生沢地域まちづくり協議会で作成したマップを配布した。地区のことを知ってもらったことで、地区内散策に繋がった。	—	
4)定性的な効果 発現状況	・「湯めぐり花めぐり」参加者の約9割から「概ね満足した」という結果を得られたことや、イベント参加者の約9割から次回イベントが開催された際に参加するという声を得られたことから、こうしたイベントを継続的に地域内で行うことで、地域の活性化が期待できる。 ・「湯めぐり花めぐり」は、地域住民による利用割合が多く、観光施設と地元との新たな交流が生まれるきっかけとなった。													
5)実施過程の評価		実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	—				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—				
	住民参加 プロセス	稲生沢地域まちづくり実践会議 【実施頻度】年3回 【実施時期】平成27年度～平成29年度 【実施結果】「四季の花咲く稲生沢」プロジェクト、「地域資源の掘り起こしとマップづくり」プロジェクトを実践				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 区長会内に発足した「稲生沢地域まちづくり協議会」にて活動を継続				
		持続的なまちづくり 体制の構築	・温泉旅館活用事業「湯めぐり花めぐり」の開催 ・枝垂れ桃の里祭りの来訪者、稲生沢地域への来訪者に稲生沢地域の温泉を周知し、旅館の宿泊者数の増加や稲生沢地域の活性化、歴史文化の保全継承、地区のコミュニティの維持向上に繋げる。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 蓮台寺枝垂れ桃の里まつりの時期に合わせた「湯めぐり花めぐり」の定期開催			

